

## 草の根無償「チャルチュアパ市エル・ココ村ロマス・デル・ココ地区初等学校整備計画」竣工式

2022年2月2日、サンタ・アナ県チャルチュアパ市において、「チャルチュアパ市エル・ココ村ロマス・デル・ココ地区初等学校整備計画」の竣工式を実施しました。同竣工式には、有吉大使夫妻、モラン・チャルチュアツパ市長、レアル同校校長、学校関係者、児童、保護者、当館館員が出席し、テープカット、記念碑除幕、記念植樹等を行いました。

本計画は、草の根・人間の安全保障無償資金協力によるもので、同校に1常設教室の建設、4常設教室の改修、厨房兼倉庫の建設、水洗トイレの建設、既存の仮教室の校長室への改修（370㎡）及び外構工事の設置を行いました。プロジェクト総額は115,788.35米ドルで、その内日本政府は105,209.00米ドル、チャルチュアツパ市役所は8,500.00米ドル、そして地域住民は2,079.35米ドルです。また、教育省が机や椅子などの備品を一部提供しました。

実施前の教室は、建設されて以来十分な修繕及び改修がなされず、教師と児童の安全が確保されているとはいいがたい状況でした。さらに、年々の児童・生徒数の増加で教室が不足し、倉庫や厨房兼倉庫を仮教室として利用するといった状況を強いられていました。案件完了後は、新規に建設された教室や修繕された教室で、安全かつ雨漏りや雨風に悩まされることのない学習環境が整い、さらに、厨房兼倉庫や水洗トイレが整備され、衛生的な環境になりました。

有吉大使は挨拶の中で、本事業を通じてエルサルバドルにおける人間の安全保障の理念を踏まえた開発に日本が貢献できていることは誠に喜ばしく、日本及び日本国民の誇りとするところであると述べた上で、イベントに参加していた児童には自分自身とコミュニティの未来のために勉強にしっかりと取り組んでほしいこと、教師や保護者の方々には、現在同校に通学する生徒だけでなく、将来の世代も快適に学習できるよう施設の維持管理をしっかりされていくことを期待している旨表明しました。

### 受益者の声

日本の皆様、学校関係者の皆様、教員の方々、生徒の皆さん、今日という日に参加させていただけることを大変うれしく思っております。整備された学校建設はこの地区の夢でした。いろいろな方の努力でこの夢が実現したことを大変誇りに思います。

モラン・チャルチュアツパ市長





当校の学校の修繕はかなえられない夢と言われていました。しかしながら、小さな希望を持ち続け、いろいろな方々に支えられながら、日本の支援に出会うことができ、今日の日を迎えることができました。この日が迎えられたことに感謝の意を表します。

リアル校長



除幕式



テープカット



記念品授与



記念植樹



視察



在校生の民族ダンス披露



同校生徒からのお礼の言葉



同校教員との記念撮

実施前

実施後

教室





